

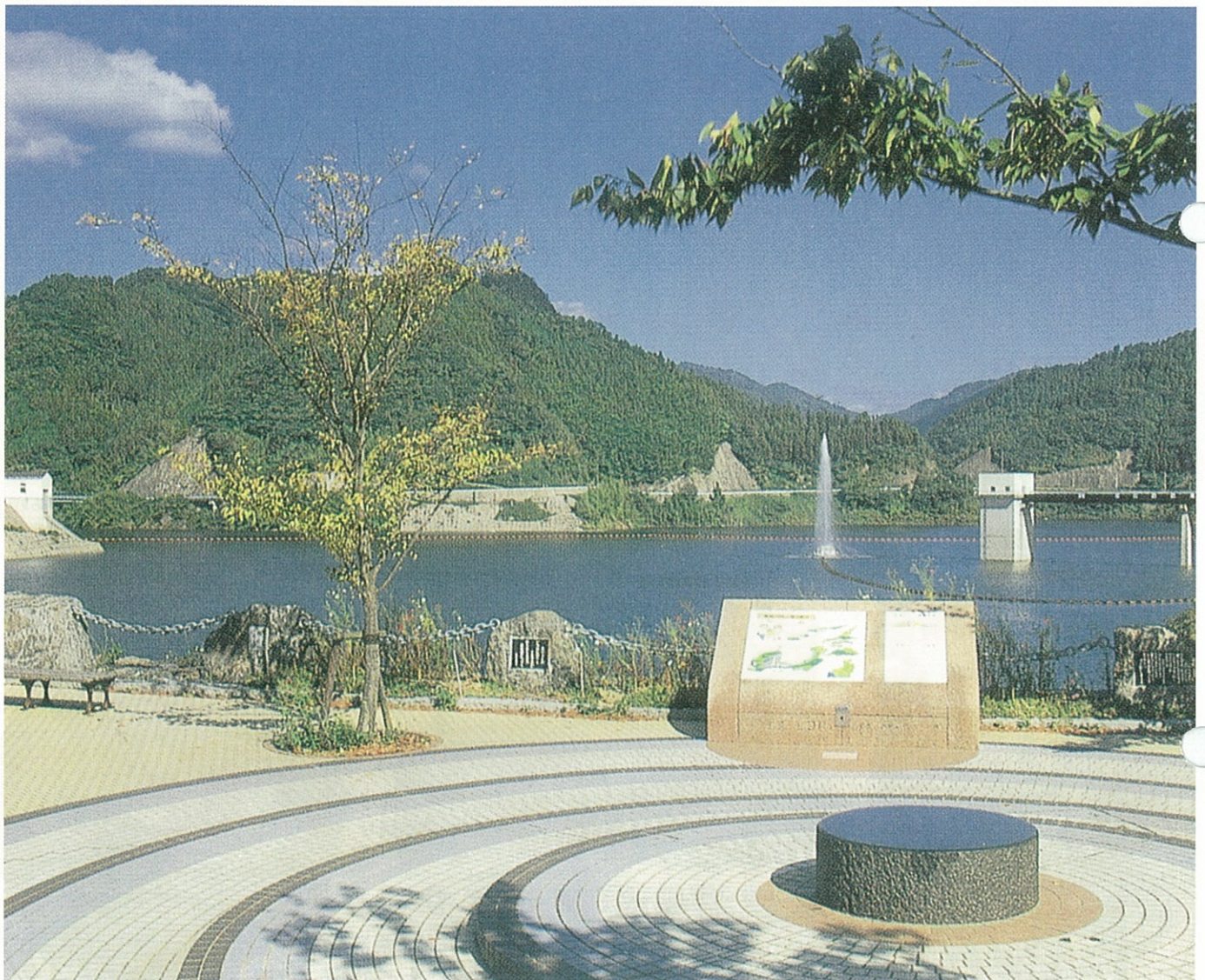
みんなの夢の創造と実現のために……

星のゆめ

下松市観光協会
会報

VOL. 7

編集・発行／下松市観光協会 発行者／近間幸雄 Phone 0833-45-1843



自然とふれあう米泉湖



二十一世紀は変革の時代といわれ、モノの時代からこの時代の時代の一つの現象として移って行くとも言われています。社会全体が今まで経験した事もない変化にさらされ、新しい時代へと流されて行くことは既に色々な角度から分析されています。この時代の代と一口に言われても、概念的にはほんやりと理解はできませんが、それではいつたい何から始めたらよいか大変難しい問題です。商工観光面から考えてみても、この時代の代にふさわしい店作りとはどうあるべきか、どんなサービスを提供すべきか課題は山積みです。この変化に対応すべく、ある者は合併、吸収などによって大型化を図ることでしようし、ある者はかたくなに小単位での道をさぐる事でしょうが、いずれにしても、それによって異質化できるかどうか問われています。

新しい流れは、大きな流れへと日々変化していきます。その底にある本当の流れをとらえるべく、一步一步将来につながる努力をしていきたいものです。

(A)

駅南地区リジウムフェスタⅢにジョイント
 『まち角ギャラリー』
 (ふるさとの思い出写真展)を開催して

創星倶楽部企画室 室長

原田 泰雅

潮騒でもご紹介いただきました私達のクラブは市民団体の代表者や青年会議所のメンバーを中心に現在三〇名程の会員で、主として環境問題とまつり・イベントの二班に分れ月一回の定例会で活動しています。

この度の写真展の企画は、昨年創星倶楽部となって始めてのイベントで、下松再発見をテーマに二つの顔を持たせました。一つは去る四月十六日に行いました郷土史家橘正先生をお招きして「パネル写真で見ると下松今昔物語」の卓話開催です。当日中央公民館の会場では、ご家族連れを始め溢れんばかりの市民の皆さまが先生の貴重な写真に見入りながら熱心に聴講されました。

もう一つは「まちは博物館(まち角ギャラリー)」の実験的側面でした。ギャラリーの候補地を最終的に街づくりを實踐しておられる駅南地区に

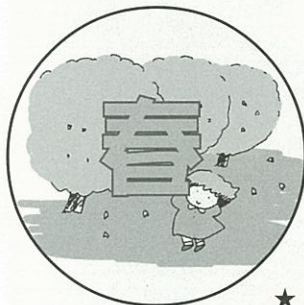
絞り交渉に入りしました。企画書を提出申し上げたところリジウムフェスタ実行委員会で快諾してくださり、サテライトギャラリー展示会場として二十二店舗の確保、ギャラリーマップとスタンプリリーの作成、景品などを全てご用意いただきスタッフ一同大感激。当日四月二十九日は晴天に恵まれリニューアルになったプラネットビルのテレポートを皮切りに盛り沢山の催しが繰り広げられました。特に印象的だったのは佐賀県嬉野町から町長さん一行が特産品を携えて出店していたことです。

他地域との交流を大切に駅南地区の人々の心に触れ思わず拍手したくなりました。まち角ギャラリーの入場者は予想を上回り約二百名。お陰さまでまちは博物館の実験ができました。次回は環境美化宣言文等の企画で近々お願

いすることとなります。

●平成9年4月～平成10年3月

●観光情報etc



4/6 切戸川桜桜フェスタ
 ★4/29 米泉湖文学碑建立者の集い

8/3 海水浴まつり
 (はなぐり海水浴場)



5/3 笠戸島まつり
 ★5/10~11 春の商工まつり



★7/7 7・7・7コンサート
 (ザ・モール周南)

8/31 笠戸島マリノイカダレース
 (はなぐり海水浴場)
 ★7/26 米泉湖サマージャンボリー
 ★8/中旬 灯ろう流し

今年も楽しい行事を
 予定しています

★7/18~8/17 海水浴場開き
 ★8/30 風鎮踊り
 (妙見宮)



11/9 米泉湖音楽フェスタ

★9/下旬 ひらめ等魚介類供養祭
 ★10/25~26 秋の商工まつり (体育館)
 ★11/3 稲穂まつり (キツネの嫁入)
 ★H10 1/7 大黒市 (妙見宮)
 ★2/3~4 節分祭 (妙見宮)



わしや笠戸のひらめいの。諫早湾の「ムツゴロウはん」達大変ですいの。ありや、よう考えたら、大量虐殺ですの。わしら、魚の仲間として、悲しゅうてたまらんですいの。人間さんのエネルギー源として役に立つちよると思うちよるのに、水抜いて、日干しにするって、何考えちよるんかいの。そう云えば、八代の「ツルさん」達も大変ですの。今年は二十羽しか来んかつたって、保護協会の人達が、頭抱えて、出水から貰おうちゅうて相談しちよるらしいけど、変ですいの。大きな道造つたり、立派な建物建てちよつて、ツルが来んちゅうても、来んのはツルの勝手ですいの。何んせ、羽、生えちよるんじやけ。好きにしますいの。でも、宇部の「カッタくん」や「アリーくん」育てた笹田先生が云うちよつたけど、減つたのは近親交配もその原因なんじやて。今の時代、卵を孵化して育てる方法もあるんじやて。わしらヒラメの時の様に、専門家の意見より聞いてやってみるんも、ええんと違ひますかの。

OH! OH! 桜桜フェスタ'97を終えて

来て!見て!満喫、宵桜
3月29日(土)
～4月13日(日)

切戸川桜桜フェスタ実行委員会
実行委員長 松原伸昭

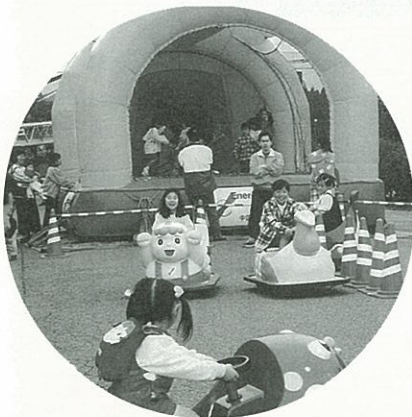
「吉野の山の 桜は 良
き人に 咲く。」という言
葉をこの時分になると思い
出す。
一方体育館側チエリー
パークでは、下松市吹奏
楽団、地元バンドバイオ
レットの演奏。こちら
は、子供たちの歓声がひ
ときわ高く響く。消防署
のはしご車の試乗、中国

実行委員長という大役を
引き受けてからというも
の、気になるのは、天気ば
かり。この春ほど夜空を見
上げたことはなかった。
おかげで彗星の当り年と
いうことではあったが、何
回となく見た。なかでも、
ライトアップされた桜の花
びらとヘール・ポップ彗星
の空間は圧巻だった。
点灯式当日は、朝から
雨。無料接待を翌日に変更
してのスタートであった。
フェスタ当日も朝は、小さ
い雨が降っていたが幸い、
午後には薄日がさすほど回
復し、胸をなでおろした。
陸上自衛隊第13音楽隊の
演奏のもと、山口県警の
オーブンパトカー、下松市
交通安全協会のパレード
で、にぎにぎしく始まっ
た。降松星太鼓、下中吹奏
楽部等の趣向をこらした演
奏、チャックさんのいろん
な動物も登場するパントマ
イム。板野としおさんの運
動量豊富な、子供たちとの
リズムミックダンス。各団体
のバザー、猿回しなどが市

「切戸川の 桜は 良
き人に良く見られたいた
めに 咲く。」
「切戸川の 桜は 良
き人に会おうために 咲
く。」
来年も、いやずと咲
き続け、下松市を見つめ
ていることだろう。

「切戸川の 桜は 良
き人に良く見られたいた
めに 咲く。」
「切戸川の 桜は 良
き人に会おうために 咲
く。」
来年も、いやずと咲
き続け、下松市を見つめ
ていることだろう。

桜桜フェスタグラフィティー!!



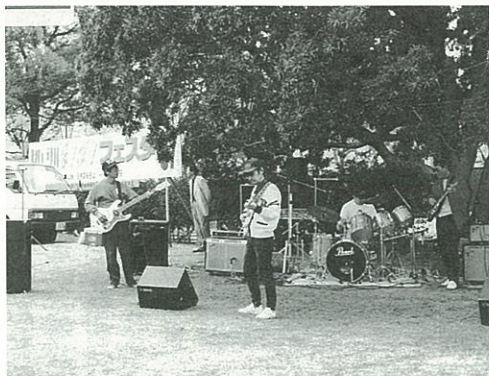
▲ 中電コーナーで楽しむ親子づれ



▲ ほんぼり、ライトアップ点灯式



▲ 小周防もちつき保存会の実演



▲ アマチュアバンド演奏



▲ オープニング交通安全パレード



▲ 降松星太鼓演奏

